

# 県南思考 Vol.15

## 特集：酪農王国南房総の復権

あけましておめでとうございます。ひつじ年の2015年。市民の皆さまはどのように新年を迎えたでしょうか。さて、今号はひつじならぬ牛がテーマです。南房総が、わが国酪農の発祥の地だという歴史的事実は、あまり知られていません。今からおよそ300年前の享保13年、八代将軍吉宗の時代に嶺岡で牛を育てたことに始まるといわれています。その歴史ある南房総で近年、酪農家が次第に減少。背景には、飼料代、燃料費など生産コストの高騰、高齢化による後継者不足などがあげられます。質の高い牛乳の生産で評価を得てきた南房総の酪農。全国生産量トップ5のポジションを守るためにいま何が求められているのか。その実態を探ってみました。



## 特集：酪農王国南房総の復権

### 結びの対論

#### 秋山県議×木下県議×亀田県議

早朝から夜遅くまで、しかも年中無休。  
奇酷な酪農家の仕事に対しては  
それだけの対価が絶対に必要でしょう。

**亀田** 私は毎朝欠かさず、牛乳とヨーグルトを飲むようにしているんです。

**木下** 私もヨーグルトは朝と昼に1本ずつ毎日2本。議会で千葉に泊まった時でも必ず飲むようにしています。整腸剤として体にいい。

**秋山** 牛といえば、私の家は農家だったので、生まれたときから自分の家に牛がいました。母屋の裏に牛小屋があって、エサにする草刈りを手伝わされたものです。

**亀田** 昔は周囲にいくらでも生えている草をエサにしていたわけですから、生産コストに占める割合は低かったんでしょうね。

**木下** それがいまは、おそらく売り上げの7割が飼料代でしょう。乳価が上がらないなどいろいろな問題はありますが、なんといってもエサ代にお金がかかりすぎる。

**亀田** それにしても、朝から晩まで、掃除をしてエサをやって搾乳して、糞尿をトラックに積んで処理施設にもっていって、一日の労働は大変なものですね。

**木下** 今年みたいに暑いと牛舎の中の扇風機を回さなければならない。電気代もかかります。寝る間もなく働いて、それで利益が出ないんですから。

**亀田** 老朽化した牛舎も目立つようですが、建て替えもできないでしょう。

**秋山** 大きな酪農家で後継者が育ってくれればいいのですが、頭数の少ないところは大変です。ましてや新規参入を考えたら法人化するしかないでしょう。

**木下** 環境問題もあります。「家畜排泄物法」によって厳しく規制されるようになり、牛糞などもいわゆる野積みはできなくなってしまって、適正に処理しているはずなんですが。

**秋山** そうは言っても牛を飼っていては臭いも出るしハエも発生する。酪農家の近くに新興住宅ができると苦情が出て対応に苦慮する。

**亀田** なかなか悲観的な状況ですが、なんとか南房総の酪農にはがんばってもらわなければならない。まずは、需要をいかに増やすかですね。

**木下** 学校給食ですら使わなくなりましたからね。われわれの頃はパックの牛乳がついていたのですが、いまは週に2日だけとか限られているでしょう。

**秋山** 健康にいいことは間違いないわけですし、地域ブランドを多くのお店で扱うといいのですが、コスト的に大手メーカーより割高になってしまいます。

**木下** ただ、「三芳の牛乳」といったようにブランドに魅力があれば、いまの消費者は価値をみるとめて値段が高くても購入するでしょう。

秋山 光章（あきやま みつあき）

館山市選出  
昭和21年9月21日生まれ



事務所 /  
〒294-0045 館山市北条 2570-11  
TEL: 0470-23-5252 FAX: 0470-23-5251  
<http://akiyamamitsuaki.jp/>  
e-mail : akiyamamitsuaki@grace.ocn.ne.jp

木下 敬二（きした けいじ）

南房総市・安房郡選出  
昭和23年5月17日生まれ



事務所 /  
〒295-0005 南房総市千倉町牧田 164-1  
TEL: 0470-44-4111 FAX: 0470-44-4111  
<http://kishitakeiji.com/>  
e-mail : info@kishitakeiji.com

亀田 郁夫（かめだいくお）

鴨川市選出  
昭和27年2月16日生まれ



事務所 /  
〒296-0041 鴨川市東町 665  
TEL: 04-7099-0190 FAX: 04-7099-0191  
<http://www.kameda190.com/>  
e-mail : ikuo-k@leaf.ocn.ne.jp



### 県南思考 Vol.15

発行：2015年1月10日

制作：「県南思考」制作委員会

編集：式守編集工房

デザイン：野村友紀

南の風を県政に。南房総選出の県議による「県南思考」は市民の皆さんとともに、県南のあるべき姿を追い求めていきます。本紙をお読みになった感想、ご要望、その他ご意見は各県議の事務所までお気軽にお寄せください。

